



発行 佐世保商業高等学校PTA
印刷 石田文晶堂



PTA会長
北川 穂

「巣立ちを祝して」

三年生とその保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。これまでお子さまを支え、見守ってこられた保護者の皆さま、そして日々温かくご指導くださった先生方に、心より感謝と敬意を申し上げます。

卒業という節目を迎え、卒業生の皆さんは今、どのようなお気持ちでしょうか。新しい一歩を踏み出す嬉しさと同時に、少しの寂しさも感じているのではないのでしょうか。それは、この佐世保商業高校で過ごした時間が、皆さんにとってかけがえのないものであった証だと思います。

そして、保護者の皆さまにとっても、この卒業は特別な節目ではないでしょうか。子どもたちの成長を誇らしく思う気持ちと、そっと背中を見送るような寂しさ、その両方を胸に抱きながら、今日という日を迎えられていることと思います。

私自身、保護者としてこの数年間を振り返ると、子どもたちの成長とともに、私もまた、多くのことを学び、成長させてもらった時間だったと感じています。悩みや迷いを重ねる中で、その一つ一つが、子どもと向き合うことの大切さを教えてくれました。

ここからは少し、私自身の経験をお伝えします。私は四十歳を過ぎてから、自分の人生を見つめ直し、新たな挑戦をしました。海外へ渡り修行を重ね、資格を取得し、帰国後にサロンを開業しました。決して若い頃の挑戦ではなく、不安や迷いもありましたが、それでも一歩を踏み出したことで、この経験は今の自分

にとって大切なものになっていきます。この経験を通して、人生の歩き方は一つではないのだと、あらためて感じました。私はこの道を選びましたが、そんな大人がいることを、卒業生の皆さんがふとした時に思い出し、くれたら、それでいい。そう思っています。

これからは、進学や就職などを通して、それぞれが社会と直接関わる場面も増えていくことと思います。その中で、思い通りにいかないことや、遠回りに感じることもあるかもしれません。けれど、その一つ一つが、皆さん自身の力となり、これからの人生を支えてくれるはずですから。どうか、自分で考え、自分で選び、自分の足で歩いてください。

最後になりますが、PTA活動を通して、多くの出会いと学びをいただきましたことに、心より感謝申し上げます。PTAは、さまざまな立場や考えを持つ保護者が集い、学校とともに、子どもたちを支える場だと感じています。これからも、それぞれの思いを大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていきましょうと思います。

卒業生の皆さんが、それぞれの場所で、自分らしい人生を歩んでいけることを、心から応援しています。ご卒業、本当におめでとうございます。



卒業記念号



校長
平山 政一

「誰もが生きやすい社会の実現に向けて」

三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。期待と不安を胸に入學してはや三年が経過いたしました。思い起こせば、本校に入學された令和五年度は本校創立百周年の節目の年であり、記念式典をはじめ百周年関連の行事が多く実施された年でした。いつまでも記憶に残る高校生活の良き思い出となったのではないのでしょうか。

また、皆様には葉商坂の除草作業や体育祭での飲料提供、文化祭食物パズルやマラソン大会での補食提供など、生徒への激励や支援を数多くいただきました心より感謝申し上げます。

私にとっても、本校での勤務に区切りをつける一年として勤めてまいりましたが、生徒の頑張っている姿をたくさん見ることができ、とても充実した日々を過ごさせていただきました。生徒の皆さん、保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱい

さて、本年度の話題の一つに、日本史上初の女性総理大臣が誕生したことが挙げられます。昨年十月に高市早苗衆議院議員が第一〇四代内閣総理大臣に就任いたしました。衆参両議院における女性議員の比率は二〇%しかおらず、政府が目標としている「二〇二〇年代の可能な限り早期に女性の割合三〇%」にはまだまだ遠い状況のなかでの高市総理の就任は高い関心事となりました。

本校は大正十二年に男子校として誕生した学校ですが、昭和二十四年から男女共学となりました。現在の生徒数は五〇七名ですが、女子の比率が八十五%と開

校当時と逆転したような状態となっております。また、十一月に行われた生徒会役員改選では村上芽生(二年)さんが新生徒会長に就任しましたが、これで四年続けての女性生徒会長となりました。生徒会長の過去の歴史を調べてみると、平成三年に初の女性生徒会長が誕生しており、以降、三十六年間で女性会長は十八名誕生しています。比率は五〇%とバランスの取れた数字といえます。PTAも北川梓様、久田玲子様(昨年度)が会長としてリーダーシップを発揮していただいております。こだわらない良好な組織運営がなされています。

ちなみに、高校で家庭科の授業を男女で受けるようになったのは平成十一年度からで、それまでは女子のみが家庭科の授業を受けていましたし、各クラスの出席番号も本校では令和二年度から男女混在といたしました。制服も本年度から全面的に新調し、男女の着こなしの制限をなくすような改正をおこないました。

令和になった今の時代、「男性が、女性が」というような時代は終わったといってもよいでしょう。しかし、ジェンダー平等や選択的夫婦別姓制度、同性婚やワークライフバランスなど、私たちの周りにはまだまだ見直しや今後の検討が必要とされている問題が山積しています。生徒の皆さんには、人権やジェンダー平等などに柔軟な考え方をもち、他者を認め、誰もが自分らしく生きることができ、社会の実現に向けて、これからの人生を歩んでいただきたいと思っております。



佐世保地区PTA研修会

令和7年10月25日(土)



PTA研修旅行《福岡市民防災センター》

令和7年10月2日(木)



PTA広報委員

- 3年 北村明日香
永田 由美
- 2年 山口 美雪
吉居 陽子
- 1年 入江 直子
三谷 詩織





2025 11/1 SAT 文化祭バザー

11月1日(土)、文化祭2日目にPTAバザーを行いました。今年もカレーとコロッケを販売し、たくさんのお客様にご利用いただきました。美味しそうに食べてくれた生徒たちや先生方、保護者の皆様の様子を見て、本当にやってよかったと感じております。来年も皆様のお力をお借りして実施したいと思っておりますのでご協力よろしくお願ひいたします。



2025 11/21 FRI マラソン大会

11月21日(金)、相浦総合グラウンド陸上競技場でマラソン大会が開催されました。みんな元気よくスタートし、懸命にゴールを目指して走りました。PTAからは、パンと飲み物の配付を行いました。完走の達成感に満ちた顔を見られ、こちらも嬉しい気持ちになりました。皆さんお疲れさまでした。



- 【男子】**
 ① 松瀬 蒼心 (2-1)
 ② 宮岡 誠一 (2-4)
 ③ 山下 汎 (3-3)
- 【女子3年】**
 ① 戸田 茉莉奈 (3-2)
 ② 松下 百花 (3-5)
 ③ 長嶋 亜季 (3-2)
- 【女子2年】**
 ① 早崎 真璃愛 (2-2)
 ② 針尾 智月 (2-1)
 ③ 三根 優月 (2-3)
- 【女子1年】**
 ① 斉藤 瑠那 (1-4)
 ② 川島 利織 (1-4)
 ③ 山下 心菜 (1-4)

各種表彰

表彰名	クラス	氏名
優良卒業児童生徒表彰	3年3組	佐藤 も え み
産業教育振興中央会表彰	3年1組	西山 瑠 奈
全商協会卒業生成績優秀者表彰	3年4組	田 井 せ り あ
長崎県高等学校体育連盟卒業生顕彰	3組5組	寺 田 さ く ら
長崎県高等学校文化連盟卒業生顕彰	3年5組	岩 永 実 莉

表彰名	人数
皆 勤 賞	9名
外国語マスター賞表彰	外国語シニアマスター賞 4名 外国語ジュニアマスター賞 11名
全商3種目以上1級合格者表彰	6冠1名 5冠5名 4冠3名 3冠6名
県商研「ビジネスマスター長崎」	98名 (ゴールド11名 シルバー30名 ブロンズ57名)